

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 長岡福祉協会	代表者	田宮 崇	法人・ 事業所 の特徴	地域との繋がりを大切にし、概ね3km以内の方より利用して頂いております。 その方の生活パターンや習慣・家族状況に応じ柔軟なサービス提供を行う事で、介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らしていける事をお手伝いしています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 千手	管理者	伊藤 裕美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	1人	人	2人	1人	人	1人	人	7人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認			事業所スタッフ全員が事業所評価に取り組んでいることが分かった。	情報共有不足の改善方法として、申し送り、連絡ノート、暮らしの情報シートを活用して情報共有に努める。
B. 事業所の しつらえ・環境			<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めての人は入口が分かりづらい。</li> <li>・地域の人が自由にお茶を飲めるスペースや職員も挨拶してくれるので居心地良い。</li> <li>・照明も適度な明るさであり、建物の構造的にも家庭的でリラックスできると思う。</li> <li>・温かい気候になると戸が開いている為か、お年寄りが大きな声を出されているのが聞こえる。</li> <li>・早朝など静かな時にエアコンの室外機の音が気になる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在設置している看板について、天気の良い日には外に設置しているが、悪天候の際はどのようにしていったら良いか検討を行う。</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり			<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の挨拶は施設外だと個人差がある。</li> <li>・事業所について、用事のない人にとっては分かりづらいと思う。お年寄りだとタクシーで面会に来る人もいると思うので、タクシー会社にも知ってもらった方が良いのではないか。</li> <li>・地域の行事（町内の祭りや運動会）に参加している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方を見かけたら、聞こえるように挨拶を行う。</li> <li>・地域への貢献活動を実施し（ごみ拾い等）、地域住民と接する機会を増やす。</li> </ul>

D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み			<p>利用者の地域資源が把握できていない。 利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議は行われていない。</p>	<p>暮らしの情報シートを見直し、再度一人ひとり作成する。</p>
E. 運営推進会議を 活かした取組み			<p>運営推進会議で地域の心配の方等の事例検討が行われているのか分からない。</p>	<p>・運営推進会議に出席しない職員については、会議への興味が少ない部分がある為、事業所の取組みを説明する職員を交代でつける。</p>
F. 事業所の 防災・災害対策			<p>事業所の防災訓練に参加した事はあるが、防災計画が分からない。</p>	<p>・運営推進会議で防災計画について説明する機会を作る。</p>